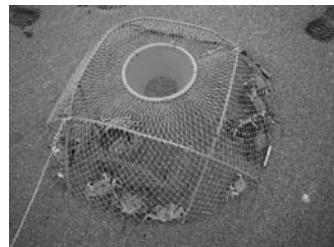


カラスがカニを隠した！ カラスの「貯食」行動



打ち上げられていたカニ籠

「貯食」とは、木の実など食べ物を貯蔵する野鳥の行動を指す言葉で、カラス、ヤマガラなどに見られるそうです。実は6月、偶然石狩川河口近くで、この「貯食」と思われるカラスの行動を目撃しました。見たのは初めてで、大変驚かされました。

その日、浜沿いを河口に向かって歩いていると、河口の少し手前に赤いカニ籠が打ち上げられていました。中をのぞくと、生きたカニがたくさん入っていました。カラスは石狩で「川ガニ」あるいは「ガニ」と呼ぶ川のカニで、正式には「モクズガニ」といいます。有名な「上海ガニ」と近い種類で、近年は人気だそうです。

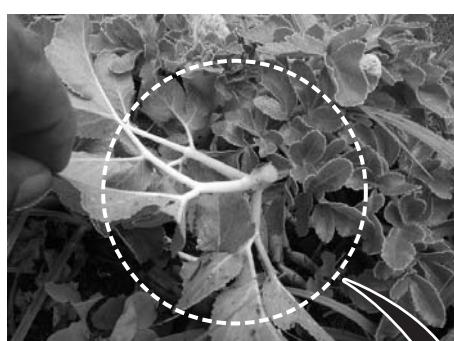
さて、カニを取り出し写真を撮っていると、カラスが1羽、近くの流木に

止まりました。カニが流木の方へ行くと、突然カラスは木から飛び降りてカニをくわえ、地面にたたきつけはじめました。間もなくカラスがもう1羽来て、別のカニに攻撃を加えます。食べようというのです。撮影を終えて歩いていると、カニをくわえたカラスが前を横切りました。川岸の木の枝などが打ち寄せられているところに降り、しきりに頭を動かしています。向こう向きでよく見えませんでしたが、何度も枝をくわえ下に置いたようです。1分もしないうちにカラスが飛び立ちました。カニはくわえていません。急いでそこに行きましたが、カニは見当たりません。

あれ？と思つていると、またカラスをくわえたカラスが、今度はハマボウフウの株のところに降りました。目を凝らしていると、カラスはカニを置き、ハマボウフウの葉をくちばしで切り取つて、あたりを見回してから置きました。カラスがいなくなつて行つてみると、思った

止まりました。カニが流木の方へ行くと、突然カラスは木から飛び降りてカニをくわえ、地面にたたきつけはじめました。間もなくカラスがもう1羽来て、別のカニに攻撃を加えます。食べようというのです。撮影を終えて歩いていると、カニをくわえたカラスが前を横切りました。川岸の木の枝などが打ち寄せられているところに降り、しきりに頭を動かしています。向こう向きでよく見えませんでしたが、何度も枝をくわえ下に置いたようです。1分もしないうちにカラスが飛び立ちました。カニはくわえていません。急いでそこに行きましたが、カニは見当たりません。

カラスの賢さは知っていますが、これほどだとは思いませんでした。
(石橋孝夫)



かぶせた葉をとると…



カニが隠されていた！